⑲ 日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

◎ 公 開 特 許 公 報 (A) 平2-79524

∰Int. Cl. ⁵

識別記号 庁内整理番号

3公開 平成 2 年(1990) 3 月20日

H 04 B 7/28

106 D 7608-5K 7608-5K

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全52頁)

図発明の名称

移動体通信の通信方法

到特 頭 昭63-230691

20出 頭 昭63(1988)9月14日

仰発 明 者 伊 藤

貞 男

東京都杉並区久我山1丁目7番41号 岩崎通信機株式会社

内

⑰出 顋 人 岩崎通信機株式会社

東京都杉並区久我山 1 丁目 7 番41号

個代 理 人 弁理士 内田 公三

明相自

1. 発明の名称

移動体通信の通信方法

2. 特許請求の範囲

段の識別情報および前記移動無線手段と交信可能な前記無線基地手段の識別情報を登録する移動体 通信の通信方法において、

前記移動無線手段の識別情報に送受信ダイバシティの実行可能な多重度を含ませる移動体通信の通信方法。

3、発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は移動体通信の通信方法に関する。さらに、小ゾーン構成を用いる移動体通信において、通信中の移動端末が移動することにより、通信品質が劣化したとき、その通信品質を満足させる通信方法に関する。

より具体的には、周波数有効利用率、通信品質、 無線回線の制御能力などに優れた送受信ダイバー シティ可能な通信方法を提供せんとするものであ る。

[従来の技術]

一般に広いサービス・エリア内で移動体通信を

19日本国特許庁(JP)

00 特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A) 平2-61668

@Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

@公開 平成2年(1990)3月1日

G 03 G 15/06 13/06 13/08

101

6777-2H 6777-2H 8807-2H

請求項の数 2 (全4頁) 審查請求 未謂求

50発明の名称 現像方法

> ②特 昭63-211906

22出 頣 昭63(1988) 8月26日

饱発 明 者 賫 古

欣 郎 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエブソン株式

会社内

切出 願 人

セイコーエプソン株式

東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

会社

四代 理 人 弁理士 鈴木 暮三郎 外1名

1. 発明の名称

現 偉 方 法

2. 特許請求の範囲

(1) 静電潜像を形成する潜像担持体に開接 して配設され像形成体であるトナーを搬送するト ナー搬送体を育し、前記トナー搬送体を前記潜像 担持体に押圧して前記トナー搬送体上の前記トナ 一を静電的に前記者像担持体に付着させて前記静 電潜像を顕像化する現像方法に於て、 前記トナー 搬送体が少なくとも導電性支持体と絶縁層とを含 み、前記トナー撤送体の一部に前記絶縁層の絶縁 抵抗を計測する抵抗計測手段が接続されることを 特徴とする現像方法。

前記抵抗計測手段により出力される前 記絶縁層の絶縁抵抗に応じて、前記潜像担持体と 前記トナー搬送体との間に現像パイアス電圧を印 加する現像パイアス印加手段を制御することを特 微とする請求項1記載の現像方法。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は、現像方法に関し、 更に詳しくは接触 式の現像方法に関する。

[従来の技術]

従来の接触式の現像方法は、 USP-2895 847に開示されるようなコンタクト現像法やU SP・3152012に関示されるようなインブ レッション環像法や特開昭57-114183に、 開示されるようなフィード現像法等が考案されて いる。

[発明が解決しようとする課題]

しかし、前述の従来技術では、環境変化特に低 温状態でトナー搬送体の絶縁周の絶縁抵抗が過大 になり現像時間が不足して十分な現像トナー量が 符られず、 低温状態での絶縁層の硬化及び高抵抗 化により単位重量当りの帯電量の大きい微小粒径 のトナーが非画像部に付着ししかも圏像部のトナ